

平成25年度

# 支笏洞爺ニセコルート活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート 代表 泉谷 清	報告年月日:2014/3/31
------------------	------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
景観 (ウエルカム北海道エリア)	来訪者をもてなすウエルカムルートの創出 (ウエルカム北海道エリア)	エリアインフォメーションシステムの検討		-	-	-	-			
		エリアマップの作成		-	-	-	-			
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくり の促進 (ウエルカム北海道エリア)	支笏湖の湖面利用に関する規制			・H18完了→H19より、生活の目で監視	-	-	-		
		水辺の眺望ポイントの整理			ルート代表者会議による支笏湖カヌー体験調査	ルート代表者会議	平成25年6月19日	12名		おもてなしの心を持って、沿道の清掃活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。今年度は、春の活動が雨天中止となったが、秋には約100名で実施。今後も引き続き、現在の活動を継続しつつ、エリアの特徴を活かした景観の向上を目指していく。
		河川や湖面、沿道の清掃			453(ヨコサン)530(ゴミゼロ)キャンペーンin支笏湖	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成25年5月30日 *雨天中止 平成25年9月27日	約100名(主催側5名 一般参加者95名)		
	みどりのマイルストーン(道標)の整備			-	-	-	-			
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成 (ウエルカム北海道エリア)	ウエルカムゲートの整備促進	恵庭岳公園線植えるカム花ロード			えにわシーニックプロジェクト	平成25年6月1日	約120名(主催側15名、 一般参加105名)		おもてなしの心を持って沿道を彩る花植え活動や清掃活動などを行い地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に千歳ウエルカム花ロードでは、活動11年目を迎え、5月には第24回全国「みどりの愛護功労者国土交通大臣賞」を受賞。7月開通の道道新千歳空港インター線も花ロードに加わり、実行委員会と小学生による花植えを実施し、活動エリア、参加者数ともに増えた。また昨年に続き第2回目を実施した小学校での花ロード特別授業の結果、参加した千歳小学生4年生が自ら花壇の除草活動を行うなど、おもてなしの心の育成も着実に進んでいる。今後も企業や地域の理解を深める広報活動を展開し、植栽、除草、教育プログラムを継続し、地域連携の輪を広げ活動継続に取り組んでいく。
			ここからはじまる北海道 千歳ウエルカム花ロードver.11			千歳ウエルカム花ロード実行委員会(社団法人千歳青年会議所)	平成25年5月28日、7月8日、17日、29日	植栽650名(主催者185名、 一般参加者225名)、除草225名(主催者60名、 一般参加者165名)		
		花とみどり(紅葉する樹木)の植栽			-	-	-	-		
	エリアの景観ルールづくり 看板や広告物の規制の検討 (ウエルカム北海道エリア)				-	-	-			
景観 (ニセコ羊蹄エリア)	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる (ニセコ羊蹄エリア)	眺望ポイントの調査			-	-	-		景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて景観づくりに関する検討を継続している。各地域で子ども達と一緒に活動が目立っている。	
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動			共和町神仙沼周辺 パノラマラインの清掃活動	共和町商工会青年部	平成25年6月7日	各10名(主催者側10名)		
		花と緑の植栽	綺麗街道沿道植栽				NPO法人ニセコまちづくりフォーラム、ニセコ町商工会正会員、女性部、青年部、ニセコ郵便局、ニセコ町役場	平成25年5月25日		120名(主催者側40名、 一般参加80名)
			フラワーロードデュリ植え				村づくり研究会	平成25年6月2日		100名(主催者側20名、 一般参加80名)
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する (ニセコ羊蹄エリア)	廃屋の撤去			「羊蹄山麓広域景観づくり」と協働で検討	エリア全体	継続検討中	30名		
		フォトコンテスト			シーニックナイト2014フォトコンテスト	WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成26年2月22日			
	尻別川など自然豊かな水辺の景観をつくる (ニセコ羊蹄エリア)	河川周辺の清掃や管理			尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理(草刈等)	京極町景観を考える会、きもべつWAO、WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成25年8月1日	30名(主催者側30名)	S N 1	景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議会にて景観づくりに関する検討を継続している。また、今年度から京極町、倶知安町、喜茂別町においては、地域協働の取組として官民連携によるビューポイントパーキング周辺草刈りが試験的に行われた。
		河川景観の保全と河畔林の創出			尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリバーネット、蘭越町	平成25年6月22日	320名(主催者側50名、 一般参加270名)		
		散策路・フットパスの整備			フットパス「紅葉探勝トレール」	(株)二世古楽座(NPO法人しりべつリバーネット)	平成25年10月6日	30名		
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去 (ニセコ羊蹄エリア)				「羊蹄山麓広域景観づくり」と協働で検討	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会	継続検討中	30名	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」にて4つの検討部会を中心にそれぞれの情報共有・情報交換等が行われている。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート 代表 泉谷 清	報告年月日:2014/3/31
------------------	------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観 (洞爺湖エリア)	洞爺湖に彩りを添える (洞爺湖エリア)	眺望ポイントの調査研究		協働型インフラ会議(国道230号洞爺湖エリア)	洞爺湖温泉観光協会、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖町、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか	平成26年1月23日、3月17日	10名(各2回)		洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
		サクラの植栽		MOVE洞爺湖2013～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成25年4月27日	330名(主催側30名、一般参加300名)		
		洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理		MOVE洞爺湖2013～洞爺湖畔のゴミ拾い、彫刻清掃	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成25年4月27日	330名(主催側30名、一般参加300名)		
		花と緑(紅葉する樹木)の植栽		MOVE洞爺湖2013～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成25年4月27日	330名(主催側30名、一般参加300名)		
	温泉街らしさを演出する (洞爺湖エリア)	洞爺湖温泉の花・プランター整備		MOVE洞爺湖2013～花壇整備や桜の植樹	洞爺湖温泉観光協会、洞爺湖町ほか	平成25年4月27日	330名(主催側30名、一般参加300名)		
		湯煙のあるまちづくりの推進	洞爺湖温泉夏祭り		洞爺湖温泉観光協会	平成25年7月27日～8月17日	—		
			洞爺湖温泉薬師の日「湯かたまつり」		洞爺湖温泉観光協会、洞爺にぎわいネットワークほか	平成25年8月8日	—		
			洞爺湖温泉冬まつり		洞爺湖温泉観光協会	平成26年2月4日～12日	—		
	温泉街のサインの統一		—	—	—	—			
	果樹園などの田園景観を整える (洞爺湖エリア)	くだもの村の統一看板の設置		実施済み	そうべつくだもの村ほか	実施済み	—		洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
		馬の歩く道景観づくり		—	—	—	—		
		花和地区の花壇整備		—	—	—	—		
		1008 453(とうや よごさん)キャンペーンの実施		1008 453(とうや よごさん)キャンペーン	支笏洞爺ニセコルート 代表車会議(洞爺湖エリア)	平成25年8月24日	42名	S T 1	
	花による沿道の演出		沿道美化活動	そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会	平成25年度	30名			
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去 (洞爺湖エリア)		協働型インフラ会議(国道230号洞爺湖エリア)	洞爺湖温泉観光協会、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖町、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか	平成26年1月23日、3月17日	10名(各2回)			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート 代表 泉谷 清	報告年月日:2014/3/31
------------------	------------------------	-----------------

地域	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
地域 (ウエルカム北海道エリア)	地域資源の発掘と保全活用 (ウエルカム北海道エリア)	支笏湖タウンマップの作成		支笏湖マップ増刷・配布	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成25年度			千歳市の協力をえて、支笏湖マップを増刷、支笏湖内はもとより、地下歩行空間にて配布・周知を行った。
		歴史や文化的資源も含めた地域資源の発掘と活用		-	-	-	-	-	
		タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘		-	-	-	-	-	
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出 (ウエルカム北海道エリア)	地域ブランド化の検討		「恵み野花マップ」の制作による地域ブランドのPR	社団法人恵庭観光協会発行(えにわシーニックプロジェクト企画)	平成25年度(春季)			花の町恵庭の「花」を地域ブランドとして継続して情報発信している。今後も、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作		-	-	-	-	-	
		コミュニティビジネス研究		-	-	-	-	-	
	交流と連携による地域づくりの推進 (ウエルカム北海道エリア)	子ども・住民向け文化事業の推進と活動参加のしくみづくり		ここからはじまる北海道千歳ウエルカム花ロードver.11特別授業①②	社団法人千歳青年会議所	平成25年 ①5月23日 ②7月5日	①73名(主催10名、小学生他63名) ②65名(主催10名、小学生他55名)		地域の美しい沿道景観づくりと北海道を訪れる方へのおもてなしの心の育成を図るウエルカム花ロード活動について、花植え参加予定の3年生対象の事前授業と、昨年参加の4年生を対象にした事後授業を実施。昨年の10周年記念特別企画であったが大変好評だったため今年度も継続実施した。活動の歴史と意義を伝える講義のほか、ワークショップを通じて、活動からひろがる地域内外のつながりを理解し、周辺環境や郷土への関心、愛着心を高めながら、活動への理解と協力、参加意欲を高める取り組み。今年度、事後授業を受けた4年生が企画し花壇の除草を実施した。授業が確実に、活動の理解、関心、参加意欲の高まりにつながっていると考えられる。現在は、青年会議所と礼建、千歳市が中心に企画運営しているが、今後は、より効果的な教育プログラムの実施に向けて実行委員会の全機関で相互に協力し、継続していく予定である。恵庭の市民が集まるコミュニティの場。パイウェイの配布など、シーニックの魅力や寄り道情報について発信。今後も様々な機会を通じて、シーニックのPRを図っていく。
		各研修会などの開催		-	-	-	-	-	
		タウンミーティングの開催		「えにわ市民プラザ・アイル」における情報発信	えにわシーニックプロジェクト	平成25年4月1日～3月31日			
地域 (ニセコ羊蹄エリア)	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用 (ニセコ羊蹄エリア)	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催		-	-	-	-		後継者や人材不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後の更なる検討が必要。一方で、小学校と連携した取り組みの実践など、次世代に向けた人材育成・環境プログラムなどが実践されてきている。
		音楽コンサートの開催		くっちゃん雪トピアフェスティバル2014	くっちゃん雪トピアフェスティバル2014実行委員会 他	平成26年2月22日			
		地域資源の発掘・活用		教育環境プログラム「地域資源を活用した昔の遊び」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会	平成25年度	-		
	地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進 (ニセコ羊蹄エリア)	地域の人々と連携した活動の推進	タカラモノプロジェクト2014		支笏洞爺ニセコルート代表者会議		平成25年度	-	
			各自治体での清掃活動		ニセコ羊蹄エリア全域		平成25年度	延べ500名程度(各50～70名)	
教育環境プログラム「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」				教育環境プログラム「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、倶知安町立東小学校2年生、倶知安町立北陽小学校1年生	平成26年 ①1月30日 ②2月20日	①30名(主催者側4名、小学生ほか26名) ②38名(主催者側3名、小学生ほか35名)	環境教育プロジェクトとして、小学生が参加した廃油を活用したキャンドル作りなど、新しい取り組みも展開している。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。また、ニセコ羊蹄エリアではエリア内にある道の駅と連携したスタンプラリーを継続実施しており、地域商店等の住民を巻き込んだ活動を展開している。	
南しりべし「道の駅」スタンプラリー				エリア代表者会議		平成25年度	-		
羊蹄山ろく「道の駅」スタンプラリー		エリア代表者会議		平成25年度	-				
第3回ニセコ町地域コンシェルジュ人材育成講座		(株)二世古楽座(NPO法人しりべつりバーネット)		平成25年12月6日～8日、平成26年1月24日～26日	30名(主催者側10名、一般参加20名)				
地域の人材の育成と活用 (ニセコ羊蹄エリア)	タウンミーティング・研修会の開催							ニセコ羊蹄エリア地域の観光客や移住者をサポートする地域ガイドを育成するため、外国人に対するホスピタリティーの心得などを学ぶ機会を提供した。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート 代表 泉谷 清	報告年月日:2014/3/31
------------------	------------------------	-----------------

地域	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
地域 (洞爺湖エ リア)	エリアの資源の発掘と保全活用 (洞爺湖エリア)	エリアの資源の研究会の開催		洞爺湖中島散策会	NPO法人有珠山周辺地域 ジオパーク友の会	平成25年10月26日	各42名(主催側12名、 一般参加30名)		地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどを きっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めて いる。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協 力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化してい く。今年度は「カクレモノプロジェクトモニターツアー」として試行実施。
		地域資源マップの作成		「La.toya(広域パンフレット)」の作 成	洞爺湖温泉観光協会ほか	平成25年度	—		
	エリアの産業の活性化 (洞爺湖エリア)	コミュニティビジネスの研究		ワンストップサポート事業の推進	NPO法人洞爺にぎわいネットワ ーク	継続中	—		洞爺湖有珠山ジオパークを中心として、継続的に各種イベントなど様々な 取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿 等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討 が必要。
		地産地消の推進		[胆振の国(いぶりのくに)]食ブラ ンド化プロジェクト	ゆつたりズム体験倶楽部、 洞爺にぎわいネットワーク、 洞爺湖温泉観光協会	継続中	—		
				洞爺湖有珠山ジオパーク「フード パス」	NPO法人そうべつ観光協会	継続中	—		
				そうべつりんごまつり	そうべつくだもの村外	平成25年10月6日	約10,050名(主催側50 名、一般参加10,000名)		
		保養型温泉観光の推進		健康保養型観光の推進	洞爺湖周辺地域エコミュージアム 推進協議会 そうべつ観光協会 他				
		体験型農業の推進		社管町移住体験ツアー募集事業	そうべつくだもの村 NPO法人そうべつ観光協会 胆振支庁				
	エリアの人材育成 (洞爺湖エリア)	NPO化に向けた研修会の開催		—	—	—	—		洞爺湖有珠山ジオパークを中心として、継続的に各種イベントなど 様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推 し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、 今後さらなる検討が必要。
		地元の学校と連携した活動の推進		世界ジオパーク 昭和新山登山会 (ジオツアー)	NPO法人有珠山周辺地域 ジオパーク友の会	平成25年5月11日	— (※熊出没のため延期)		
		エリアの人材登録制度の検討		洞爺湖有珠火山マイスター養成講 座	洞爺湖有珠山ジオパーク推 進協議会外	平成25年10月11日、12 日	100名(主催側20名、一 般参加80名)		
		タウンミーティング・シーニック塾の開催		洞爺湖有珠山ジオパーク 洞爺湖 中島散策会	NPO法人有珠山周辺地域 ジオパーク友の会	平成25年10月26日	各42名(主催側12名、 一般参加30名)		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート 代表 泉谷 清	報告年月日:2014/3/31
------------------	------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
観光 (ウエルカム 北海道エリ ア)	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり (ウエルカム北海道エリア)	ファームイン・体験農園との連携の検討	-	-	-	-	-	今年度は約30団体が参加。メイン会場の道の駅花ロードえにわではボランティア70名による2500個の灯り、国道36号沿道合計3、2kmの灯りなど、恵庭市内17会場で合計約1万個のキャンドルに灯りを灯し、冬の魅力ある景観づくり、観光空間づくりを実施。活動を継続してきたことで、市民、学生、PTAや企業が連携した、町ぐるみの活動に成長してきた。今後も、引き続き、参加団体も、来てくれる観光客のみならずも楽しめる活動として継続していく。	
		食をテーマにした特産品の開発	-	-	-	-	-		
		エリア企業との連携による魅力づくり	えにわシーニックナイト	えにわシーニックプロジェクト	2月8日、15日 道の駅花ロードえにわ他恵庭市内	約4000名(主催者1000名鑑賞者約3000名)	-		
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催 (ウエルカム北海道エリア)	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	支笏湖サンセットコンサート	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	サンセットコンサート 平成24年7月27日(土)	100名	-		引き続き、景色の魅力を活かしたイベント等と実施し、エリアの魅力を発信していく。
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信 (ウエルカム北海道エリア)	観光コミュニティバスの実験運行	-	-	-	-	-		-
ホームページの作成		-	FaceBookを活用した情報発信	ルート代表者会議	平成25年度継続実施	-	-	エリアの周遊性を高める情報発信として、平成24年度より、情報発信の仕組みとして個人が繋がり、そのネットワークを活かすFacebookの活用を開始。今年度も引き続き各エリアの地元ガイドさんなどと連携し、地域の旬の情報をほぼ毎日ルートのFacebookで発信した。ルート内及び周辺の魅力ある地域資源を繋げ、周遊してもらう工夫をし、地域に人が入ってくるような企画を今後も継続的に実施したい。	
エリアの周遊の検討		シーニックご当地キャラスタンプラリー2013	エリア代表者会議	平成25年7月20日～ 平成25年10月20日	-	-			
		えにわシーニックナイト	えにわシーニックプロジェクト	2月8日、15日 道の駅花ロードえにわ他恵庭市内	約4000名(主催者1000名鑑賞者約3000名)	-			
支笏湖 雪あかりの散歩道	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成26年2月1日、2日	-	-	-				
観光 (ニセコ羊蹄 エリア)	農産物など地場産品を活用した魅力づくり (ニセコ羊蹄エリア)	食(農産物)の活用と売り込み	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の開設	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、倶知安町 他	(通年営業)	-	-	倶知安町にアンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」が開設し、地域住民と来訪者の交流の場、地場産品の販売の場として展開している。今年度は小樽市内のホテルやレストランでの直売やファームボックス設置により、販売経路を広げる取組を行った。今後は適切なニーズの把握やより一層の販売経路の確保等についての検討が必要である。	
		ホームページでの情報発信	イベント情報等の発信	NPO法人しりべつりバーネット、村づくり研究会ほか	継続中	-	-		
	エリアのきめ細かな情報の発信 (ニセコ羊蹄エリア)	ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	-	-	-	-	-	各種イベントなど様々な取組について、従来のHPでの情報発信のほか、平成24年度開始したルートのfacebookでの情報発信を継続している。	
		エリアのホームページの作成	FaceBookを活用した情報発信	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成24年度開始 (継続中)	主催側11名(管理人) 閲覧者145名	-		
		地域の歴史など基づいたツアーの開催	-	-	-	-	-		
地域とのふれあいを大切に観光の推進 (ニセコ羊蹄エリア)	地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	-	エキノコックス公開講座	NPO法人しりべつりバーネット、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会他	継続中	60名(主催者側10名、 一般参加50名)	-	ニセコ羊蹄エリアを中心として広域展開されてきたエキノコックス駆除活動は、継続的に実施されている。	
	ふれあいのある体験ツアーの企画開催	-	ニセコ湯めぐりバス	ニセコリゾート観光協会	継続中	-	-		
	シーニックデッキ・カフェの設置	-	シーニックデッキ「八幡」「くっちゃんマルシェ」「小川原脩記念美術館」	ニセコ羊蹄エリア代表者会議 認定	平成25年度	-	-		
	シーニックバスの運行	-	-	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート 代表 泉谷 清	報告年月日:2014/3/31
------------------	------------------------	-----------------

観光 (洞爺湖エリア)	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上 (洞爺湖エリア)	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上 (洞爺湖エリア)	おもてなしキャンペーンの実施		有珠山頂夜まつり	有珠山ロープウェイ(NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか)	平成25年8月9日～11日	—		「La.toya(広域パンフレット)」の作成において、次年度発行される冊子の表紙にシーニックバイウェイのロゴマークが挿入されることとなった。
				旬の食材を味わう洞爺湖「食」の四季キャンペーン	洞爺湖温泉観光協会	平成25年度	—		
		湖畔カフェの設置 温泉街ガイドブックの発行		洞爺湖マルシェ 湖畔カフェ	洞爺湖温泉観光協会	平成25年度	—		
				「La.toya(広域パンフレット)」の作成	洞爺湖温泉観光協会ほか	平成25年度	—		
資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成 (洞爺湖エリア)	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成 (洞爺湖エリア)	フォトコンテストの開催		—	—	—	—		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。  地域の魅力ポイントをめぐる体験ツアーとして、今年度「カクレモノ☆プロジェクト」をacebook利用者にターゲットを絞り、試行実施した。今後も地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
		エコミュージアムガイドブックの発行		—	—	—	—		
		エコミュージアムツアーの企画・運営		ジオツアー 有珠山学習会 一有珠新山・大有珠巡り	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成25年5月25日	35名(会員15名、一般参加20名)		
				初夏のオロフレ山 自然保護学習登山会	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会	平成25年6月23日	25名(会員10名、一般参加15名)		
		ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営		カクレモノ☆プロジェクト	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成25年度	14名 (主催6名、一般8名)		
		エリア人材バンクの設立		—	—	—	—		
洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実 (洞爺湖エリア)	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実 (洞爺湖エリア)	マップ・パンフレットの作成		「La.toya(広域パンフレット)」の作成	洞爺湖温泉観光協会ほか	平成25年度	—		第2回日本ジオパーク全国大会開催に合わせ、各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。また、洞爺湖エリアの「食」を推し進め、合宿等の誘致等とあわせ、産業の活性化を図っているが、今後さらなる検討が必要。
		物産展の開催		そうべつりんごまつり	そうべつくだもの村外	平成25年10月6日	約10,050名(主催側50名、一般参加10,000名)		
		花和地区の花壇整備		—	—	—	—		
		ホームページやエリアマップなどでの情報発信		イベント情報等の発信	洞爺湖温泉観光協会、NPO法人そうべつ観光協会、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会ほか	継続中			
シーニックバスツアーの企画・運行(洞爺湖エリア)				—	—	—	—		
エリアの資源を活用した複合ツアーの企画(洞爺湖エリア)				洞爺湖周辺地域エコミュージアム・ジオパークツアー	NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会				洞爺湖周辺エコミュージアム構想に加え、平成20年10月に新たに『洞爺湖有珠山ジオパーク』(世界地質遺産)国内候補地に決定したことで、豊かな自然や地質遺産を活用したジオツーリズムなどの普及拡大を通して、北海道洞爺湖サミット開催地としての知名度向上を追い風にしたニューツーリズムの振興が期待される。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート 代表 泉谷 清	報告年月日:2014/3/31
------------------	------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光 (洞爺湖エ リア)	イベントの企画・運営(洞爺湖エリア)		洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	洞爺湖温泉観光協会	平成25年11月15日～ 平成26年2月16日	—		「世界ジオパーク」として登録された「洞爺湖有珠山ジオパーク」が有する洞爺カルデラや有珠山などに代表される地質遺産や、雄大で美しい自然遺産、さらに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的に活用した地域振興・観光振興、人材育成等が期待される。
			TOYAKOマンガ・アニメフェスタ2013	TOYAKOマンガ・アニメフェスタ事業推進委員会(洞爺湖温泉観光協会ほか)	平成25年6月22日、23日	約49,000人		
			洞爺湖温泉ウインターキャンペーン	(社)洞爺湖温泉観光協会	平成25年度	—		
	人材育成のための研修会などの開催(洞爺湖エリア)		[胆振の国(いぶりのくに)]食ブランド化プロジェクト	ゆったりリズム体験倶楽部、洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖温泉観光協会	継続中	—		
			洞爺湖有珠山ジオパーク「フードバス」	NPO法人そうべつ観光協会	継続中	—		
観光 (ルート連 携)	ルートを対象としたイベントの企画・実施(シーニックナイト2014～あなたのところへあかりよとどけ～)		支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2014」	シーニックナイト2014実行委員会 他	平成26年2月1日～ 23日	約8,000名(主催側 2,000名、一般参加 6,000名)		各地での取り組みが多様化するなど地域の取り組みとして着実に浸透してきている。平成25年度は、全道の灯りに取り組むルートに声かけを行い、地下歩行空間等でのPRのほかFacebookによるプロモーションを実施した。
	ルートを対象としたツアーの企画・実施		支笏洞爺ニセコ“タカラモノプロジェクト”(平成25年度は試作メニューの開発)	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	継続中	10名		支笏洞爺ニセコルート内で、これまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに「光」をあて、“新たな付加価値”をつける。宝ものプロジェクト。平成25年度はさらなるメニューの開発(むかごの利用、その他)とイベント時の試食やレストランでの試行的提供を行った。今後も引き続き、地域の宝を探し、磨くことをルート全体で取り組む予定である。
	ルートを対象としたツアーの企画・実施		支笏洞爺ニセコ“カクレモノ☆プロジェクト”(平成25年度はモニターツアー)	支笏洞爺ニセコルート代表者会議	平成25年9月7日、8日	14名 (主催6名、一般8名)		
	エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進～シーニックの森づくりの推進～		エキノコックス駆除活動	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会・倶知安町、京極町景観を考える会・京極町、らんこしWAO・蘭越町、NPO法人きもべつWAO・喜茂別町、ニセコ町、真狩村 他	平成25年度	各20名程度 (自治体毎に毎月1回 ペイト散布)		環境に配慮した取り組みとして「エキノコックス駆除活動」がエリア全域に拡大しており、今後の広域的な展開に向けた方針や方向性の再検討が必要。



**【概要】** 千歳ウェルカム花ロードは、年間約1800万人が利用する北海道の空の玄関口新千歳空港の町として、「ここからはじまる北海道～みんなでつなぐ花の道～」をテーマに、美しい景観づくりを通じて子供達の『おもてなしの心』を育成する活動として、(社)千歳青年会議所が中心となり平成15年に始まった。小学校、企業、ボランティア、花植え団体、航空自衛隊千歳基地、行政機関へと協力連携の輪が広がり、活動11年間で約6千人が参加し、空港周辺に23万株の花を植えた。

H25年度には、活動の功績が認められ、第24回全国「みどりの愛護」功労者国土交通大臣賞を受賞。7月開通の道道新千歳空港インター線が花ロードに新規加入し、5月と7月の2回で計650人が活動に参加し、空港周辺5kmに約3万株を植栽した。その他、小学校2校約120名の児童を対象に花ロード活動の意義を伝える特別授業を実施。札幌駅前通地下歩行空間や新千歳空港での広報活動、7月下旬には、実行委員会とボランティアなど約230名による花壇の除草を実施した。

**【日時】** 札幌駅前通地下歩行空間PR展示：平成25年5月20日～26日、花植え：5月28日、7月18日  
花ロード特別授業：5月23日（緑小学校）、7月5日（千歳小学校）、除草：7月8、17、29日

**【場所】** 千歳市（JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか）

**【主催】** 千歳ウェルカム花ロード実行委員会 **【参加人数】** 植栽650名、授業120名、除草230名



活動名：尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理（草刈等）

- 【概要】従来各団体が個別に行ってきた清掃活動を拡大し、羊蹄山麓周辺3町村協力のもと、尻別川や羊蹄山という資源を守り、美しいドライブルートを創出する一環として、合同維持管理作業を試行実施した。団体の抱える高齢化等の問題に対し地域一体で取組を進めたことが成果として残る一方、実施に係る費用の捻出方法については今後の課題である。
- 【日時】平成25年8月1日（木）
- 【場所】京極町、倶知安町、喜茂別町のビューポイントパーキング周辺及び尻別川周辺（計4か所）
- 【主催】支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 熊谷 雅幸
- 【参加人数】約30名（主催者側30名）



# 支笏洞爺ニセコルート 《洞爺湖エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

1008 453(とうや よごさん)キャンペーン

- 【概要】 従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とおや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。
- 【日時】 平成25年8月24日(土)
- 【場所】 洞爺湖1周(国道230号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)
- 【主催】 支笏洞爺ニセコルート 代表者会議(洞爺湖エリア)
- 【参加人数】 42名



3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 泉谷 清	報告年月:2014/3/31
-------------------------------	------------------------	----------------

活動団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ</li> <li>・えにわシーニックプロジェクト</li> <li>・社団法人 千歳青年会議所</li> </ul> (計3団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>●エリア代表者会議の運営 (構成) (代表)エリア代表 平成17年・20・23・24・25年 泉谷 清 (えにわシーニックプロジェクト) 平成18年・21年・22年 白石 一人 (NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ) 平成19年 佐藤 哲也 (社団法人 千歳青年会議所)</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	エリア運営(事務局体制:スケ ジュール調整など)													
	ルート運営代表者会議			● 6月19日 (第1回)支笏 湖			● 9月3日 (第2回)洞爺 湖							
	エリア代表者会議													
	シーニックナイト2014											● 2月1日~23 日:実施		
	検討会・勉強会など	4月25日 (第1回花ロード 実行委員会)	●5月20日~26 日花ロード展 示、23日花 ロード特別授 業、28日花 ロード植栽		7月5日花ロー ド特別授業、 17日・29日花 ロード除草				11月19日 (第2回花ロー ド実行委員会)			2月25日 (第3回花ロー ド実行委員会)		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2014/3/31
------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の実施	4月25日 (第1回花ロード 実行委員会)	●5月20日~26 日花ロード展 示、23日花 ロード特別授 業、28日花 ロード植栽		7月5日花ロード特 別授業、17日・29 日花ロード除草、 18日花ロード植栽	花ロード開催 結果報告			●11月19日 行政連絡会議、第 2回花ロード実行委 員会		・シーニックナイ トの取組につい て情報共有とP R協力連携	2月5日、8日シー ニックナイト、25日 第3回花ロード実行 委員会	・花ロードほか来 年度業務につい て打ち合わせと 情報交換:予定	

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:洞爺湖エリア代表 藤盛 元	報告年月:2014/3/31
--------------------------	-------------------	----------------

活動団体
一般社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、大滝レンジャーズ、NPO法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会、ナチュラル・フロンティア(株) (以上9団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>(1)洞爺湖エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。</p> <p>(2)洞爺湖エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	ルート運営代表者会議			● 6月19日 (第1回) 支笏湖			● 9月3日 (第2回)洞爺 湖							
	エリア代表者会議				● 7月12日 (第1回) 壮瞥町									
	シーニックナイト2014								←事務打合せ→		←地域内調整→		● 2月1日~23 日:実施	
	カクレモノ☆プロジェクト						● 9月7日~8日 (第1回) ニセコ・洞爺湖・支 笏湖				● 1月23日 試食会			

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2014/3/31
------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の実施										● 1月23日 協働型会議①		● 3月17日 協働型会議②	

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者: ニセコ羊蹄エリア代表 熊谷 雅幸	報告年月: 2014/3/31
-----------------------------	-----------------------	-----------------

活動団体
共和町商工会青年部、京極町景観を考える会、NPO法人きもべつWAO、村づくり研究会、NPO法人しりべつリバーネット、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ニセコマちづくりフォーラム、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、(株)ニセコリゾート観光協会、らんこしWAO、るすつWAO(以上11団体)

ルート運営体制(活動団体)
<p>(1)ニセコ羊蹄エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の共通意識の醸成やお互いの活動に対する理解を図るために、「ニセコ羊蹄エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。</p> <p>(2)ニセコ羊蹄エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表を兼任します。 ●ニセコ羊蹄エリア代表:熊谷 雅幸(らんこしWAO)</p>

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	ルート運営代表者会議			● 6月19日 (第1回)支笏湖			● 9月3日 (第2回)洞爺湖							
	エリア代表者会議												● 3月13日 倶知安町	
	シーニックナイト2014								←事務打合せ	→地域内調整		● 2月1日~23日:実施		
	タカラモノプロジェクト2014						● 9月7日~8日 (第1回) ニセコ・洞爺湖・支笏湖				● 1月23日 試食会			

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者: 小樽開発建設部	報告年月: 2014/3/31
-------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の実施						●9月27日 小樽市打合せ						●3月 関係自治体 個別訪問	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2014/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成25年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
<p>来訪者をもてなすウェルカムルートの創出 北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進</p>	<p>・「道道恵庭岳公園線植えるカム花ロード」の主催及び協力</p>	平成25年6月1日	<p>・恵庭市</p> <p>・北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所</p>	<p>・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催 ・花苗等、物資の準備、運営を行う。</p> <p>・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして助成。4年限定の事業であったが、継続した支援体制を続けている。</p>	<p>・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携体制が築かれている。 ・また、今年度は7月開通の道道新千歳空港インター線が花ロードに加わり、空港構内道路の植栽や花ロード授業の継続により、花ロードの広がりと同時に、体験と教育プログラムによる、活動の理解向上、人材育成など、しっかりとした基盤を整備を進めながら、新たな10年にむけて始動の年であった。 ・今後も、各行政機関連携のもと、活動団体の意向に対する調整や支援メニューの提案など、密な連携が望まれる。</p>	1
	<p>・「453・530(ヨゴサン・ゴミゼロ)キャンペーン」のゴミ処理、清掃用具の提供等</p>	平成25年5月30日 (雨天中止) 平成25年9月27日 (実施)	<p>・千歳市</p> <p>・札幌開発建設部 千歳道路事務所</p> <p>・支笏湖自然保護官事務所</p>	<p>・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加</p> <p>・ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・人的支援として、清掃活動に参加</p> <p>・人的支援として、清掃活動に参加 ・今後、環境の日や自然公園クリーンデーとの清掃活動の連携も考えられる</p>		2
<p>花とみどりによる四季の感じられる景観形成</p>	<p>・「千歳ウェルカム花ロードver11」の実行委員会事務局として運営支援 ①活動紹介特別展示ほか広報支援 ②花ロード特別授業(千歳市立緑小学校) ③花植え(準備、調整、実施) ④花ロード特別授業(千歳市立千歳小学校) ⑤除草 ⑥実行委員会の開催</p>	平成25年 ①5月20～26日 ②5月23日 ③5月28日、7月18日 ④7月5日 ⑤7月17日、29日 ⑥4月25日、11月19日、2月25日	<p>・千歳市</p> <p>・札幌開発建設部 ・千歳道路事務所 ・千歳空港建設事業所</p>	<p>・平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈り実施。 ・その他花ロード授業、展示、広報、実行委員会開催など事業全般に関する協力支援</p> <p>・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・空港構内道路における植栽実施支援 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。 活動全般に関する企画・運営支援、関係行政機関、団体等との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより国道36号の植樹マスへの植栽・草刈りを実施。 ・本活動が民間主導の運営体制となるよう、実施方法の見直しなどを図っていく。 ・花ロード活動の広報支援。活動紹介特別展示(地下歩行空間)の企画・調整・実施、新千歳空港構内連絡通路でのポスター掲示 ・小学校による花ロード特別授業のコーディネートを実施</p> <p>・道道千歳インター線、新千歳空港インター線において、植栽活動を実施。 ・企業参加及び一般参加者を増やす取組が必要。 ・その他、地域関係者の調整など事業全般について協力支援</p>	3	

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成25年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	支笏湖マップ増刷・配布	平成25年度	・千歳市	・支笏湖の多言語マップの増刷協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通じてルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施。活動紹介や見所・イベントをPRを行うなど情報発信を積極的に行い、地域内外でルート認知向上をはかり、地域の人々の理解と関心を深めるために積極的に支援を行った。</li> <li>・今後も、行政機関等と連携し、活動団体と協働で企画や調整、参加、相談などの支援、情報発信、提供による支援も継続して行っていく。</li> </ul>	4
		エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信		平成25年度	・千歳市		・ホームページトップ「千歳市の魅力」において、シーニックバイウェイ北海道へのリンクを掲載し、周知に協力。
	平成25年度			・北海道空知総合振興局札幌建設管理部	・ホームページトップページにおいて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載し、活動の周知に協力。		6
	平成25年度			・北海道	・道路課のトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載。		
	平成25年度			・札幌運輸支局	・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のパナーを掲載。		
	平成25年度			・札幌開発建設部	・H19年度より札建HP等でシーニックバイウェイ制度や花ロードの開催報告などルートに関する情報を掲載。 ・花ロードやシーニックナイトのポスター、チラシについて地下歩行空間、新千歳空港での掲示の他、ルート関係者とともに、団体、企業、行政機関、大学へ広く活動紹介、PR協力を依頼し、積極的に情報発信を行った。		
	平成25年度		・恵庭市	・ルート連携活動「シーニックナイト2014～あなたのところへあかりよとどけ～」実施のための人的支援、メール配信。 ・市民活動支援制度えにわぶケツによる支援金の交付	7		
	平成25年度		・千歳市	・ルート連携活動「シーニックナイト2014～あなたのところへあかりよとどけ～」実施のためのキャンドル費用を支援			
	平成25年度		・北海道石狩総合振興局地域政策課ほか行政連絡会議関係機関	・ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト2014～あなたのところへあかりよとどけ～」の活動周知のための情報を掲載。(石狩の風景にて、実施の様子を掲載)。シーニックナイトのポスター掲示。			
	平成26年2月1日～2月23日	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部、千歳道路事務所、滝野すすらん丘陵公園事務所ほか	・ルート連携活動「シーニックナイト2014～あなたのところへあかりよとどけ～」において、取り組みの「後援」及びポスター・チラシの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。				

※表中“★”は、H25新規に実施した活動



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2014/3/31				
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成25年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	洞爺湖に彩を添える	MOVE洞爺湖2013	平成25年4月27日	洞爺湖町	AIR'Gとの協力の下、洞爺湖町が洞爺湖温泉街の花壇整備・清掃活動を2001年から継続展開中。洞爺湖畔のゴミ拾い、彫刻清掃に加えて、花壇整備や桜の植樹を行っている。	当該地域では、清掃活動や花壇整備などの景観づくりが行われている。今後も地域住民の「想い」を各関係行政機関が「後押しする・繋げる」などの協働型マネジメントの取り組みにシフトしていくことが必要であると思われる。	1
地域	エリアの資源の保全活用	ジオツアー 有珠山学習会 ー有珠新山・大有珠巡りー	平成25年5月25日	壮瞥町	有珠山学習会として有珠新山と大有珠山頂をじっくり散策するツアー。コース案内として友の会ガイド部会、火山マイスターメンバーが担当した。	取り組みの継続に向けた地域活動団体と連携した適切な維持管理体制の構築が必要。	2
	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推進	平成25年度	胆振総合振興局	胆振総合振興局は平成20年度より「洞爺湖有珠火山マイスター制度」を推進している。平成24年度は新たに2名が加わり現在23名がマイスターとして認定され活動しており、次第に活動の場が広がってきている。並行して実施している「洞爺湖有珠火山マイスター養成講座」も継続を予定している。		3
観光	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	「オールいぶり」によるビジットジャパンキャンペーンの展開	平成25年度(継続展開)	北海道運輸局 伊達市 豊浦町 洞爺湖町 壮瞥町	運輸局と連携し、北海道登別洞爺広域観光圏が中心となって、ビジットジャパンキャンペーン(以下、VJC)を展開し、観光・集客誘致に向けた取り組みを推進している。VJCでは、海外のマスコミやエージェントに対して、また修学旅行等をターゲットとした各種PR活動を展開している。	当該管内では、「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会」を中心に自治体間や関係行政機関の連携が積極的に図られている。行政としては行政連絡会議や各種取り組みにおいて参加協力及び人的支援等による連携が図られている。	4
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	洞爺湖有珠山地域ジオパーク関連ツアー	平成25年度	壮瞥町	ジオサイトとなっている洞爺カルデラの中にある中島を散策する「洞爺湖中島散策会」ほか、有珠山、昭和新山を登山するジオツアーを開催。参加者は、さまざまな分野を学習し、壮大な火山活動が創った有珠山、洞爺湖等、ジオ・エコツアーを楽しんだ。		5
	イベントの企画・運営	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成25年11月15日～平成26年2月16日	洞爺湖町	今冬で8回目となるイベント。洞爺湖温泉にぎわい広場に延長約70mのトンネルを設置し、LEDなど約40万個の電球で飾る。		6
			平成26年2月1日～23日	胆振総合振興局 伊達市 壮瞥町 洞爺湖町 室蘭開発建設部	シーニックバイウェイ北海道・支笏洞爺ニセコルートでの冬の夜を楽しむイベント、「シーニックナイト2014」。一般市民が多数参加し、キャンドルの火を灯すことにより、地域住民及び観光客に対して、広くシーニックバイウェイの取組をPRすることができた。各行政機関も後援などの形で支援を行っている。		7
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	胆振を楽しむフリーペーパー「リーぶす」の発行	平成25年度	胆振総合振興局	観光情報メディアに取り上げられない地元の人がよく行くお店、地元の人だけが知っている観光スポットなど「隠れ家・穴場」情報を積極的に紹介するフリーペーパー。		8

※表中“★”は、H25新規に実施した活動

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)		報告者:小樽開発建設部		報告年月:2014/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成25年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討	平成25年度	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会 後志総合振興局	4つの部会(羊蹄の日の制定及び活動検討部会、景観法検討部会、案内標識検討部会、水辺景観づくり部会)に分かれて地域住民と協働で具体的な検討を進めている。	7か町村の連携による「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討を中心に各種情報共有・情報交換が継続的に行われており、地域にも浸透してきている。	1
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	町民ボランティアの集い「まちをきれいしよう」	平成25年5月	京極町	ゴミや空き缶を拾い集め、きれいなまちづくりを行うことを目的として、毎年5月に市街地の清掃活動を実施。		2
		「フラワーロード事業」の実施	平成26年6月2日	真狩村	継続の重要性を感じており、次年度以降も継続展開を予定している。しかし、球根の輸送代(オランダより輸入)や管理費や肥料代等が高いことが課題である。		3
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	「尻別川クリーン作戦」の実施	平成25年6月22日	蘭越町 小樽開発建設部 後志総合振興局	シーニック活動団体である、しりべつリバーネットが主催となり、清流日本一の尻別川の清らかな流れを守ることが流域全体の自然を大切にす心の和を広げること目標として、カヌー等を使って清掃。作業終了後は地域との交流を図る交流会を実施。		4
地域	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	雪トピアフェスティバル2014 (実行委員会構成メンバーとして参加)	平成26年2月22日	倶知安町	町と町民有志による協賛で開催し、自衛隊も全面的に協力してくれている。運営は雪トピアフェスティバル実行委員会。事務局は倶知安町役場商工観光課。今年もシーニックナイトとも連携したイベントとしてキャンドルを介した交流を行った。	広域連携の取り組みである「シーニックナイト」や環境に配慮した取り組みとして「エキノコックス駆除活動」が各自体にも定着してきている。	5
	地域コミュニティを大切に地域づくりの推進	「シーニックナイト2014」への協力・参加	平成26年2月1日～ 平成26年2月23日	管内6市町村、 後志総合振興局、 小樽開発建設部、 小樽開発建設部倶知安開発事務所	ニセコ羊蹄エリアにおいて活動団体が存在する自治体では、地域活動団体が主体となって企画運営を行い、行政は人的支援や広報支援によるサポートを行っている。		6
	地域の人材の育成と活用	「羊蹄山麓広域景観づくり懇談会」の開催	平成26年3月25日	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会	「羊蹄山麓広域景観づくり指針」に基づき構成した「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」では、羊蹄山麓における広域景観づくりの情報を交換し、地域での取り組みの総意を形成する場として、毎年1回「羊蹄山麓広域景観づくり懇談会」を開催している。		7
観光	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の運営	(通年営業)	[主催]くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会	平成21年4月、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会を中心として、倶知安町青年団体協議会、ようてい農協倶知安支所、倶知安商店連合会、倶知安観光協会、倶知安商工会議所のメンバーにより「くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会」を設立した。コンセプトは、地元の新鮮な農産物や特産品の紹介や販売による生産者同士あるいは生産者と消費者の交流の場をメインに、観光案内などの情報発信機能、憩いの場としての機能としても活用できる、地域に根ざした多目的空間の創出である。	ほとんどの自治体において地域活動団体への金銭的な支援は直接できないが、自主財源を確保するための情報提供等は適宜行われている。	8
	エリアのきめ細かな情報の発信	しりべしシステム事業との連携 (HP等の媒体活用による情報発信)	平成25年度	後志総合振興局、 小樽開発建設部	「しりべしシステム」では、地域だよりとして各自体からのイベント情報等を随時提供している。また、シーニックバイニセコ羊蹄エリアのサイトリニューアルについても、お薦め景観ポイントやシーニックイベント情報等の提供を検討中。		9
		南しりべし「道の駅」スタンプラリー	平成25年度	ニセコ羊蹄エリア行政連絡会議 小樽開発建設部	地域の最新情報を多くの人に知ってもらうため、南しりべし地域限定の道の駅スタンプラリーを開催。南しりべし地域の一部は、ニセコ羊蹄エリアとなっており、当該エリアとも連携。		10
		羊蹄山ろく「道の駅」スタンプラリー	平成25年度	ニセコ羊蹄エリア行政連絡会議 小樽開発建設部	地域に多くの人を訪れるよう、羊蹄山ろく地域限定の道の駅スタンプラリーを開催。羊蹄山ろく周辺はニセコ羊蹄エリアとなっているため、当該エリアとも連携。		11
		★後志収穫祭	平成25年9月15日、 16日	後志総合振興局 小樽開発建設部ほか	後志地域の生産者と消費者との交流拡大を目的に開催されている「後志収穫祭」にニセコ羊蹄エリアと連携し、パネル、チラシ等で活動をPRした。		12
地域のとのふれあいを大切に観光の推進	ニセコフェスティバル2013の開催	平成25年8月24日～ 10月14日	ニセコフェスティバル実行委員会(ニセコ町、倶知安町他)	ニセコ本来の魅力をお知らせし『ニセコファン』を確保し、倶知安・ニセコの農・商・観光事業者が協力し、各施設からさまざまなプログラムをご提供し、総合的な連携を強め『ニセコエリア』としてお客様をお迎えした。 ○主催:ニセコフェスティバル実行委員会 ●後援(順不同):倶知安町・ニセコ町・倶知安観光協会・ニセコリゾート観光協会・ニセコプロモーションボード	13		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成25年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
その他	エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除に向けた調査等	平成25年度	倶知安町、蘭越町、京極町、ニセコ町、喜茂別町、真狩村	ニセコ羊蹄地域が国際的な観光地へ発展するための環境整備のひとつとして、人間と野生動物が安全に共存できる状況をつくるための生態系修復の試み。喜茂別町及びニセコ町へエリアを拡大展開し、寄生されたキツネのフンに含まれるエキノコックスの抗原(排泄物)の有無に基づいて寄生率を求めた。エリア代表者会議、及び行政連絡会議においても周知・協力体制の構築を図っており、エリア全体から北海道全域での取り組みとしての展開につながることを期待する。	エキノコックス駆除活動については、羊蹄山麓エリアの5自治体(蘭越、ニセコ、喜茂別、京極、倶知安)にて予算付けがされるなど、地域全体の取り組みとして認知されてきた。	14
	シーニックバイウェイの地域内外への浸透に向けた取り組みの推進	地域住民等との協働による景観配慮型道路付属施設への改善、維持管理活動等の試行実施	平成25年度 (継続実施中)	小樽開発建設部	ニセコ羊蹄エリアを訪れる旅行者および地域住民における同エリアがシーニックバイウェイのルートであることの認識度向上のため、地域活動団体や地域住民等と協働し、景観配慮型の道路付属施設のあり方等について検討を行い、改善を試行的に実施した。平成25年度は、これまでに実施された道路付属施設改善箇所について地域住民や関係行政機関及び一般道路利用者と評価し、地域協働による取組成果を共有した。	景観に配慮した道路空間のあり方及び維持管理体制の構築について総括し、地域全体で状況の認知を行った。	15

※表中“★”は、H25新規に実施した活動

5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月:2014/3/31
------------------	-----------------------	----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----		

ルート名称:●●ルート	報告者:●●開発建設部	報告年月:2014/3/31
-------------	-------------	----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----		